

Morgan Stanley

グローバル・ボンド・ オープンIM

受益者の皆様へ

毎々、格別のお引き立てにあずかり厚くお礼申し上げます。
さて、グローバル・ボンド・オープンIMは、去る2018年11月26日に第40期の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドは、主としてグローバル・ボンド・マザーファンドを通じて、日本を除く各国の公社債に投資し、投資信託財産の長期的な安定成長を目的として、安定運用を行うことを基本としており、当期もそのように運用を行いました。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

追加型投信／海外／債券

交付運用報告書

第40期（決算日 2018年11月26日）

作成対象期間（2018年5月24日～2018年11月26日）

| 第40期末（2018年11月26日） | |
|--------------------|---------|
| 基準価額 | 10,195円 |
| 純資産総額 | 653百万円 |
| 第40期 | |
| 騰落率 | △0.9% |
| 分配金 | 50円 |

（注）騰落率は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。右記ホームページの「ファンド情報」にてファンド名をご選択いただき、「ディスクロージャー欄」から当ファンドの運用報告書をご覧ください。

○運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

運用報告書に関するお問い合わせ先

モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント株式会社
業務部

〒100-8109 東京都千代田区大手町一丁目9番7号
大手町フィナンシャルシティ サウスタワー

電話番号：03-6836-5140

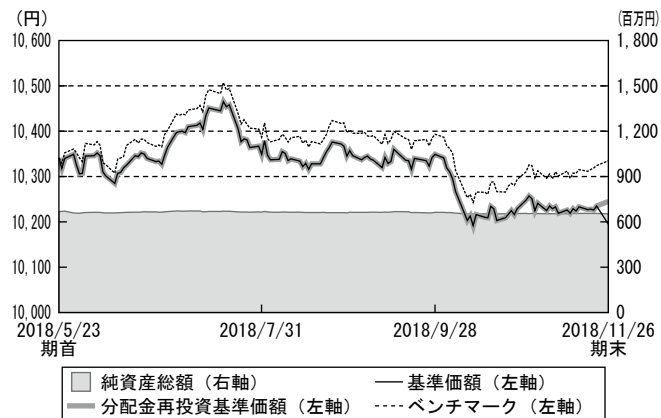
受付時間：営業日の午前9時～午後5時

ホームページ：www.morganstanley.com/im/jp

お客様のお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

■運用経過

基準価額等の推移



第40期首：10,341円

第40期末：10,195円（既払分配金50円）

騰落率：△0.9%（分配金再投資ベース）

- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。分配金再投資基準価額は、期首の値を基準価額と同値にして指数化しています。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース：25%為替オープン+75%為替ヘッジ）です。為替オープン部分は基準日前営業日の米ドル建て指数を基準日の対顧客電信売相場仲値を用いて当社が独自に円換算し、為替ヘッジ部分は基準日前営業日の円ヘッジ指数を用いています。ベンチマークは、期首の値を基準価額と同値にして指数化しています。

基準価額の主な変動要因

当期は、為替市場は若干の円安米ドル高となった一方で、米国債などが下落（利回りは上昇）したため、期首に10,341円でスタートした基準価額は期末には10,245円（分配金50円込）と下落しました。

1万口当たりの費用明細

| 項目 | 当期 (2018年5月24日～2018年11月26日) | | 項目の概要 |
|---|--------------------------------|---|--|
| | 金額 | 比率 | |
| a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社) | 66円 (31) (31) (3) | 0.636% (0.304) (0.304) (0.028) | a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用等の対価 交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価 |
| b) その他費用 (保管費用) (監査費用) (その他) | 13 (2) (8) (3) | 0.123 (0.019) (0.078) (0.026) | b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査法人に支払うファンドの監査に係る費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用 |
| 合計 | 79 | 0.759 | |

当期中の平均基準価額は、10,327円です。

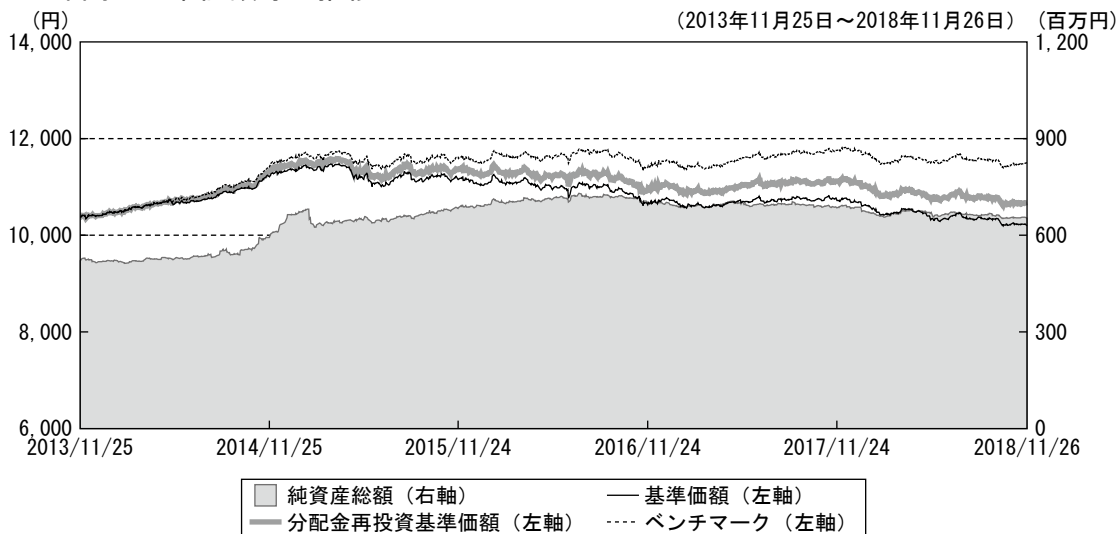
(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 「金額」欄は、各項目毎に円未満は四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移



- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- ・ベンチマークは、F T S E 世界国債インデックス（除く日本、円ベース：25%為替オープン+75%為替ヘッジ）です。為替オープン部分は基準日前営業日の米ドル建て指数を基準日の対顧客電信売買相場仲値を用いて当社が独自に円換算し、為替ヘッジ部分は基準日前営業日の円ヘッジ指数を用いています。
- ・分配金再投資基準価額およびベンチマークは、2013年11月25日の値を基準価額と同値にして指数化しています。

| | 2013年11月25日 期首 | 2014年11月25日 決算日 | 2015年11月24日 決算日 | 2016年11月24日 決算日 | 2017年11月24日 決算日 | 2018年11月26日 決算日 |
|------------------|-------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 基準価額（分配落）（円） | 10,370 | 11,208 | 11,152 | 10,632 | 10,720 | 10,195 |
| 期間分配金合計（税込み）（円） | — | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 |
| 分配金再投資基準価額騰落率（%） | — | 9.1 | 0.4 | △3.8 | 1.8 | △4.0 |
| ベンチマーク騰落率（%） | — | 10.1 | 1.8 | △1.9 | 3.1 | △2.2 |
| 純資産総額（百万円） | 521 | 593 | 683 | 696 | 685 | 653 |

投資環境

- ① 米国債券市場においては、景気が比較的堅調で、政策金利の引き上げ傾向が続いていること等を背景に、下落（利回りは上昇）する展開となりました。一方で、8月にトルコの通貨が暴落したことなど一部の新興国金融市場に対する不安が高まったことや、米中貿易摩擦の長期化が世界的に景気を押し下げる要因として懸念されたこと、また10月以降の株式市場の下落は、金利の上昇を抑制する要因となりました。
- ② ドイツ債券市場は、当初は、イタリアの政治的な不透明感が高まり、リスク回避的に上昇（利回りは低下）する局面がありました。その後については、米国債券市場の影響を受けつつ下落（利回りは上昇）する局面があったものの、ユーロ圏の経済指標が若干鈍化していることや、イタリアの財政政策を巡る不透明感が継続したことが金利の上昇を抑制したため、概ねレンジの範囲内での推移となりました。
- ③ 為替市場は、ドル円市場において、日銀が量的緩和政策の修正や縮小を検討しているといった報道が流れ、若干の円高に転じる局面はあったものの、米国において堅調な景気拡大が継続し、追加利上げ傾向が続いていることを背景に円安米ドル高が緩やかに進行しました。ユーロについては、ユーロ圏の経済指標が全般的に鈍化していることや、イタリア情勢の不透明感が嫌気されたため、対米ドルで若干下落する展開となりました。

ポートフォリオ

マザーファンドへの投資を通じて、主要先進国公社債の国別・残存期間別組入れ比率を債券市場の変化に対応して機動的に調整するとともに、為替ヘッジを適宜実行し、安定した利息収入と売買益の確保をめざして運用してまいりました。また、運用手法としては、金利予測・為替予測よりも、各国の経済ファンダメンタルズ、インフレ動向、長短金利差および実質金利動向を重点的に分析・適用する「バリュー・アプローチ」を採用しています。この方針に基づき、組入れ銘柄の残存期間を調整し、ポートフォリオを構築しました。また、為替戦略に関しては、為替予約取引を活用しながら、バリュー・アプローチの観点から投資妙味のある通貨に積極的に投資を行いました。

(1) 債券戦略

期首より、実質金利の観点から主要な債券市場は投資魅力度が低く、特に米国においては、経済ファンダメンタルズが相対的に良好なことに加えて、今後の金融正常化を十分に織り込んでいないことからアンダーウェイト戦略を継続し、レンジの範囲内で適宜調整しました。一方、先進国の中央銀行による緩和的な金融政策が継続する中、相対的に実質金利の高い周辺国は魅力的と考え、オーストラリアやメキシコ等のオーバーウェイト戦略を継続しました。また、ユーロ圏内においては、フランス国債のアンダーウェイト戦略及び、スペイン国債のオーバーウェイト戦略を継続しました。

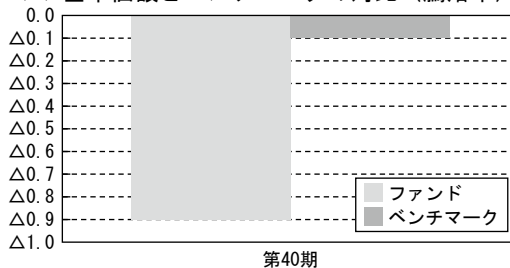
(2) 為替戦略

ドル圏においては、オーストラリア・ドルのアンダーウェイト戦略を解消しました。欧州圏内においては、ポーランド・ズロチをオーバーウェイトとする戦略を継続しつつ、ノルウェー・クローネのオーバーウェイト戦略を解消しました。また、メキシコ・ペソのオーバーウェイト戦略を解消しました。

ベンチマークとの差異

期中の騰落率は、ポートフォリオが $\Delta 0.9\%$ 、ベンチマークが $\Delta 0.1\%$ となり、 0.9% のアンダーパフォーマンスとなりました（騰落率は小数点以下第2位を四捨五入しております）。債券戦略においては、米国のアンダーウェイト戦略が奏功したものの、メキシコのオーバーウェイト戦略がマイナス寄与しました。また、為替戦略については、概ねベンチマーク並みの寄与度となりました。

(%) 基準価額とベンチマークの対比（騰落率）



分配金

当期の収益分配金につきましては基準価額水準等を勘案し、1万口当たり50円とさせていただきます。なお、収益分配金にあてなかった利益につきましては、投資信託財産中に留保し運用の基本方針に基づいて運用いたします。

【分配原資の内訳】

(単位：円、1万口当たり、税込み)

| 項目 | 第40期 |
|-----------|--------------------------|
| | (2018年5月24日～2018年11月26日) |
| 当期分配金 | 50 |
| (対基準価額比率) | 0.488% |
| 当期の収益 | 40 |
| 当期の収益以外 | 9 |
| 翌期繰越分配対象額 | 3,706 |

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 当期分配金の対基準価額比率は、当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) 「当期の収益」および「当期の収益以外」の数値は円未満を切捨てているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

■今後の運用方針

米 国 債 券：米国においては緩やかな景気の拡大が継続しており、今後も追加利上げが想定されることは金利の上昇要因と考え、アンダーウェイト戦略を継続する方針です。

欧 州 債 券：ユーロ圏においては、ECB（欧州中央銀行）による量的緩和と政策の縮小は金利上昇要因となる一方で、景気改善ペースが緩慢であることや、政治面での不透明感等を勘案し、ニュートラルからアンダーウェイトの範囲で適宜調整する方針です。

為 替 戦 略：経済状況が比較的堅調なポーランド・ズロチは魅力的と考え、適宜オーバーウェイトとする方針です。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

■お知らせ

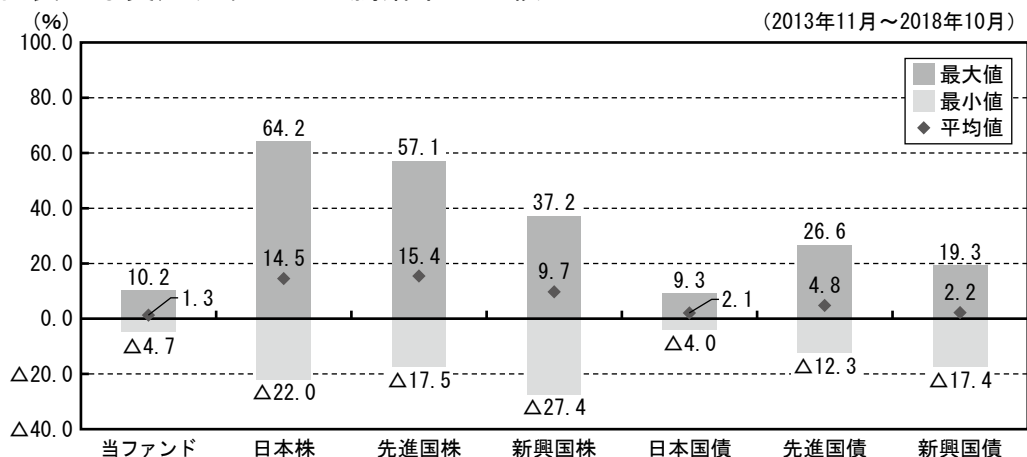
該当事項はありません。

■当ファンドの概要

| | | |
|--------|--|--|
| 商品分類 | 追加型投信／海外／債券 | |
| 信託期間 | 原則無期限 | |
| 運用方針 | 日本を除く世界各国の公社債への投資により、投資信託財産の長期的な安定成長を図ることを目的として、安定運用を行うことを基本とします。 | |
| 主要投資対象 | ベビーファンド | グローバル・ボンド・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、直接債券等に投資する場合があります。 |
| | マザーファンド | 日本を除く世界各国の公社債を主要投資対象とします。 |
| 運用方法 | グローバル・ボンド・マザーファンドへの投資を通じて、日本を除く世界主要先進国の格付けの高い公社債（原則としてA格以上）を中心に投資し、安定した収益の確保を目的に、投資信託財産の長期的な安定成長をめざします。 運用にあたっては、世界各国の実質金利分析とイールドカーブ分析に基づいて国別投資配分および期間別投資配分を行います。さらに、ファンダメンタルズ分析とクレジット分析に基づいて最適投資銘柄の選定を行います。 実質外貨建資産については、世界各国のファンダメンタルズ分析による通貨価値に基づいた為替ヘッジを活用し、為替変動リスクの低減を図ります。 | |
| 分配方針 | 原則として、毎決算時（5月23日、11月23日。ただし決算日が休業日の場合は翌営業日）に、繰越分を含めた利子・配当収益と売買益（評価益を含みます。）等から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。（ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。）収益の分配にあてなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。 | |

<参考情報>

■代表的な資産クラスとの騰落率の比較



- ・上記は、2013年11月から2018年10月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大・最小・平均を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。
- ・上記の騰落率は、直近月末から60カ月遡った算出結果であり、決算月末に対応した数値とは異なります。
- ・すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- ・当ファンドの騰落率は、分配金再投資基準価額の騰落率です。

・各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

- ・東証株価指数（TOPIX）は、株式会社東京証券取引所（㈱東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウ及び東証株価指数（TOPIX）の商標又は標章に関するすべての権利は㈱東京証券取引所が有しています。なお、本商品は、㈱東京証券取引所により提供、保証又は販売されるものではなく、㈱東京証券取引所は、本件商品の発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。
- ・MSCI コクサイ・インデックスは、MSCI Inc. が開発した、日本を除く先進国の株式市場のパフォーマンスを測るために開発された浮動株調整済み時価総額加重指数です。著作権、およびその他の知的所有権はMSCI Inc. に帰属しております。
- ・MSCI エマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc. が開発した、世界の新興国の株式市場のパフォーマンスを測るために開発された浮動株調整済み時価総額加重指数です。著作権、およびその他の知的所有権はMSCI Inc. に帰属しております。
- ・NOMURA-BPI 国債は、野村証券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村証券株式会社に帰属します。なお、野村証券株式会社は、NOMURA-BPI 国債の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、NOMURA-BPI 国債を用いて行われるモルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。
- ・FTSE 世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- ・JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド（「本指数」）は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2019, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

■当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容（2018年11月26日現在）

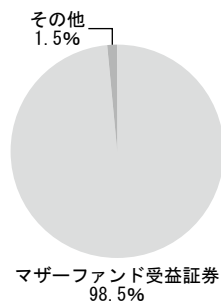
○組入ファンド等

（組入銘柄数：1銘柄）

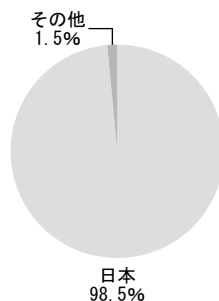
| | 第40期末 |
|-------------------|-------|
| グローバル・ボンド・マザーファンド | 98.5% |
| その他 | 1.5% |

・比率は、当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



・比率は、当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。
 ・その他には、現金等を含みます。

○純資産等

| 項目 | 第40期末 2018年11月26日 |
|------------|----------------------|
| 純資産総額 | 653,689,106円 |
| 受益権口数 | 641,160,773口 |
| 1万口当たり基準価額 | 10,195円 |

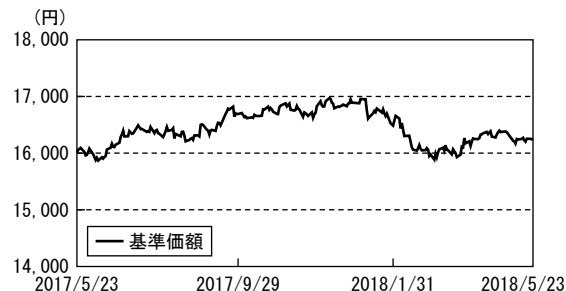
・当期中において、追加設定元本額は、55,083,552円、同解約元本額は60,081,345円です。

■組入上位ファンドの概要

以下は、当ファンドの主要な投資先ファンドの直近決算の概要です。

グローバル・ボンド・マザーファンド（計算期間 2017年5月24日～2018年5月23日）

○基準価額の推移



○1万口当たりの費用明細

| 項目 | 当期 (2017年5月24日～2018年5月23日) | |
|-----------------|-------------------------------|---------|
| | 金額 | 比率 |
| その他費用 (保管費用) | 5円 | 0.029% |
| (その他) | (5) | (0.029) |
| (その他) | (0) | (0.000) |
| 合計 | 5 | 0.029 |

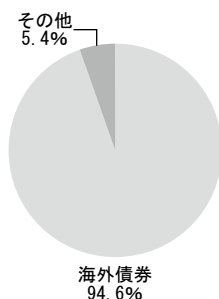
当期中の平均基準価額は、16,427円です。

○組入上位10銘柄

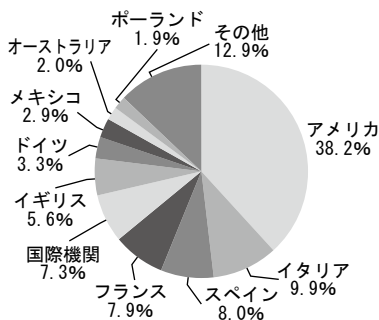
(組入銘柄数 48銘柄)

| | 銘柄名 | 利率 | 償還日 | 通貨 | 比率 |
|----|--------------------------|--------|------------|-----------|------|
| 1 | EUROPEAN INVESTMENT BANK | 6.5% | 2019/8/7 | オーストラリアドル | 5.4% |
| 2 | FRANCE | 2.25% | 2022/10/25 | ユーロ | 5.1% |
| 3 | US TREASURY | 1.375% | 2021/1/31 | 米ドル | 5.0% |
| 4 | ITALY | 1.45% | 2022/9/15 | ユーロ | 4.9% |
| 5 | US TREASURY | 1.125% | 2020/3/31 | 米ドル | 4.8% |
| 6 | US TREASURY | 1.625% | 2022/11/15 | 米ドル | 4.3% |
| 7 | US TREASURY | 1.125% | 2021/9/30 | 米ドル | 4.3% |
| 8 | US TREASURY | 2.5% | 2045/2/15 | 米ドル | 4.2% |
| 9 | US TREASURY | 1.375% | 2023/6/30 | 米ドル | 4.1% |
| 10 | SPAIN | 0.4% | 2022/4/30 | ユーロ | 4.0% |

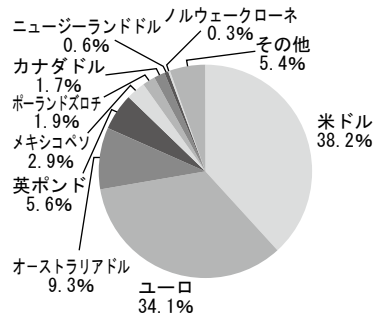
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



- ・組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
- ・資産別・国別・通貨別配分において、その他には現金等を含みます。また、国別配分および通貨別配分については、上位11位以下の国をその他に含めて集計しています。
- ・基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は、組入ファンドの直近の計算期間のものです。費用項目等については運用経過＞1万口当たりの費用明細をご参照ください。
- ・比率は、純資産総額に対する組入有価証券評価額の割合です。
- ・全銘柄に関する詳細な情報等については運用報告書（全体版）をご覧ください。